



プロフェッサー講座 カレッジ生募集案内 【平成25年10月開講】



NO	テーマ	講師名	内容等
1	知っておきたい! 薬の正しい使い方	加藤 哲太 東京薬科大学 教授	薬を正しく使うためには、いろいろなルールがあります。「なぜ」そのルールが必要なのかを理解できると「薬を正しく使える」ようになります。「なぜ」を解明していきましょう。
2	言葉の違いと人名・地名の変遷 「漢字圏の中の日本」【前編3回】 ～物・人・地のネーミングを解説～	笹原 宏之 早稲田大学 教授	世界の中で特殊な言語だと言われる日本語には、どのような特色があるのでしょうか。様々な単語や表現、文字、姓名、地名の具体的な比較を通して検証します。
	「西洋と日本」【後編3回】 ～西洋との比較文化的視点から見て～	ポール・スノードン 杏林大学 副学長 早稲田大学 名誉教授	西洋では、日本独特のものや現象をどのように表現するのでしょうか。また、西洋文化での人名・地名についても説明します。
3	知的機械と人間の知性 「脳 VS 人脳」【前編3回】 ～囲碁・将棋などの知的コンピュータ～	伊藤 毅志 電気通信大学 助教	日本古来の知的ゲームである将棋・囲碁ではコンピュータが人間を凌ぐレベルになってきています。その仕組みと人間の思考を対比しながら、知的なコンピュータと人間の関わりについて考えていきます。
	「ロボットパートナー」【後編3回】 ～人と人をつなげる知的コンピュータ～	久保田 直行 首都大学東京 教授	人と共存・共生することができるロボットの実現が期待されています。この講座では、ロボットパートナーのデモを交えつつ、人とロボットのコミュニケーションのかたちについて考えていきます。
4	宇宙の知を求めて 	日江井 榮二郎 国立天文台 名誉教授 家 正則 国立天文台 教授 梶野 敏貴 国立天文台 准教授	広大な宇宙の広がり、悠久の時の流れ、我々はどこから来たのかなど、最前線の天文学を紹介します。講座最終日には、三鷹市にあります国立天文台の見学ツアーを行います。
5	日本人の心を読み解く“おとぎ話”	今尾 佳生 玉川大学 准教授	浦島太郎、一寸法師、桃太郎など人々に親しまれてきた「おとぎ話」に潜んでいる日本人の心の在処を、民俗学的手法を用いて読み解いていきます。
6	屏風絵というタイムマシーン ～洛中洛外図による戦国の都案内～	下川 雅弘 駒沢女子大学 専任講師	戦国の京を描いた「初期洛中洛外図屏風」というタイムマシーンに乗って、町衆たちの活みなぎる花の都へ、皆さまをご案内いたしましょう!

募集期間 平成25年7月16日(火)～8月16日(金) 先着順

※ 定員に余裕がある場合には、開講後でも受講できます。

問合せ先 いなぎICカレッジ事務局(稲城市教育委員会 生涯学習課)

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-379-3665

いなぎICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>



講座紹介イベント



日程：平成25年7月28日(日)
時間：午後1時30分～3時
会場：地域振興プラザ



10月開講「プロフェッサー講座」(以下No.1～6)に、ご登壇いただく大学の先生方が一堂に会し、講座内容を各15分程度にまとめてご紹介いたします。是非、先生方のプレゼンテーションをお楽しみください！その場で受講のお申込みもできます。誰でも気軽に参加できる無料のイベントです。当日、直接会場へお越しください。

1. 知っておきたい！薬の正しい使い方

【講師】^{かとう てつた}加藤 哲太 東京薬科大学 教授

【概要】薬を正しく使うためには、いろいろなルールがあります。「なぜ」そのルールが必要なのかを理解できると「薬を正しく使える」ようになります。「なぜ」を説明していきましょう。

薬の効き方について、分かりやすく解説します。薬は体の中を血液と一緒に回り、効き方はその時の濃度「薬の血中濃度」で決まります。薬の効き方は、個人差、生活環境による違いや、他の薬・食べ物や飲み物の影響を受けて変わります。こんなことを学んでいくと、「薬の正しい使い方」に興味がわいてきます。そして説明書(添付文書)を見てみましょう。「薬の正しい使い方」が分かってきます。薬は「諸刃の剣」とも言われます。薬のことをよく知り、正しく使って、最大の効果が得られます。

【会場】iプラザ

【時間】午前10:00～11:30

【定員】35名(先着順)

第1回	10/5	薬とは 薬には色々な種類があり様々な工夫がされています。
第2回	11/2	薬の旅 飲み薬は肝臓で分解され、体内を巡り効果を発揮します。
第3回	12/7	薬の効くしくみ かぜ薬から癌の薬までやさしく説明します。
第4回	1/11	正しい使い方(1) 説明書(添付文書)を見ながら用法・用量、飲み方などを解説します。
第5回	2/1	正しい使い方(2) 薬と薬、薬と飲み物、薬と食べ物を組み合わせた時の注意などを紹介します。
第6回	3/1	薬に関する最近の話題 薬物乱用頭痛、副作用、サプリメントなど。

2. 言葉の違いと人名・地名の変遷

「漢字圏の中の日本」(前編)

～物・人・地のネーミングを解説～

【講師】^{ささはら ひろゆき}笹原 宏之 早稲田大学 教授

【概要】世界の中で特殊な言語だと言われる日本語には、どのような特色があるのでしょうか。様々な単語や表現、文字、姓名、地名の具体的な比較を通して検証します。

和語の「木漏れ日」に、中国語や韓国語でぴったりの単語が見つかるのでしょうか。もし長い訳語の表現になった場合、その単語のもつ暖かく穏やかなニュアンスまで伝えられるのでしょうか。共有してきた漢字も、その選び方、使い方、作り方に差が見いだせます。また日本では土地の名に由来する名字が多く、中国や韓国とは長さも読み方も違ってきます。子供の名前は一層変わってきました。具体例を比較しつつ日本語の実状を説明していきます。

第1回	10/5	中国・韓国と比べてわかる日本の言葉と文字の特徴
第2回	11/2	日本と中国・韓国の地名と名字の相違点
第3回		日本人と中国人・韓国人が名前に託す思いの差

「西洋と日本」(後編)

～西洋との比較文化的視点から見て～

【講師】ポール・スノードン 杏林大学 副学長
早稲田大学 名誉教授

【概要】西洋では、日本独特のものや現象をどのように表現するのでしょうか。また、西洋文化での「人名・地名」についても、説明します。

「柿」の英訳は辞書では persimmon と出ますが、従来ない果物なので、それを聞いても解らない人が多いのです。仏語ではただ le kaki と言います。語彙があっても通じない、借用語で済ませる、長い説明を使うというケースを見ながら「異文化理解」の面白い面を紹介します。加えて、人名と地名を日本のそれらと比較します。例えば、日本人の名字の多くは地名に基づいているが、英語圏では先祖の職業、名前、あだ名にちなむものも多いし、西洋の他の文化ではさらに違う方法もあります。たくさんの実例を出しながら、その概念を説明します。

第1回	1/11	日本の文化的現象の英語や他の言語での表し方
第2回	3/1	英語をはじめ西洋文化の人名の意味、由来、使い方
第3回		英語をはじめ西洋文化の地名の意味、由来、使い方

【会場】iプラザ 【定員】35名(先着順)

【時間】第1回は午後1:30～3:00 / 第2回は午後1:30～3:00 / 第3回は3:15～4:45

3. 知的機械と人間の知性

「脳 VS 人脳」(前編)

～囲碁・将棋などの知的コンピュータ～

〈講師〉伊藤 毅志 電気通信大学 助教

〈概要〉日本古来の知的ゲームである将棋、囲碁では、コンピュータが人間を凌ぐレベルになってきています。その仕組みと人間の思考を対比しながら、知的なコンピュータと人間の関わりについて考えていきます。

コンピュータ将棋では、電王戦でプロ棋士がコンピュータに負け越す時代になってきました。コンピュータ囲碁もプロ棋士に4子で勝つほど強くなっています。しかし、コンピュータ将棋とコンピュータ囲碁では、そのアルゴリズムは全く違います。この講座では、まずは、思考ゲームを題材に研究を行う意義から、その歴史、さらには、現在強くなってきた将棋や囲碁のプログラムの基本的なアルゴリズムについて解説するとともに、人間の思考との違いを明らかにしていきます。そして、知的になったコンピュータと人間の新しい関係について、考えていきます。

【会場】 地域振興プラザ

第1回	10/19	思考ゲームの研究の意義と歴史
第2回	11/16	コンピュータ将棋、囲碁の仕組み
第3回	12/14	人間とコンピュータの知の違いと新しい関係の構築へ

「ロボットパートナー」(後編)

～人と人をつなげる知的コンピュータ～

〈講師〉久保田 直行 首都大学東京 教授

〈概要〉人と共存・共生することができるロボットの実現が期待されています。この講座では、ロボットパートナーのデモを交えつつ、人とロボットのコミュニケーションの「かたち」について考えていきます。

最近、身の回りに、様々なペットロボットや人型ロボットを見かけるようになりまし。このようなロボットが、パートナーとして、人と共存・共生することができるようになるためには、人とロボットとの「かかわり」を多角的な観点から考えなければなりません。この講座では、ロボットパートナーのデモを交えつつ、人とロボットがコミュニケーションを行うための方法論や技術について紹介するとともに、独居高齢者の見守りの他、地域コミュニティにおいて、人と人を繋げるための存在になりうるか、人とロボットのコミュニケーションの「かたち」について考えていきます。

【時間】 午前10:00～11:30 【定員】 50名(先着順)

第1回	1/25	ロボットとパートナー
第2回	2/8	コミュニケーションのかたち
第3回	3/8	人と人をつなげるロボットパートナー

4. 宇宙の知を求めて

〈講師〉日江井 榮二郎 国立天文台 名誉教授

家 正則 国立天文台 教授

梶野 敏貴 国立天文台 准教授

天体現象には、その変遷が数百万年～数十億年というタイムスケールの極度に長いものから、数秒～数日という短い変動現象があります。宇宙に起こるこれら変化に富んだ諸現象は、まさに知の源泉であり、絶えず人類の知的創造力を刺激してきました。私どもは、どのように宇宙が与えてくれる知を学び獲得してきたか、そしてなおかつ、さらなる宇宙の知の源泉にたどりつこうかと努力をしている姿を見ていただきたいと思います。この講座を聴くことにより、人々は宇宙の時間・空間の壮大さ、悠久さを学び、自然界にくらべて人間の矮小さを知り、謙虚な気持ちになると同時に百数十億年の悠久な時の流れと、広大な空間を考えることのできる人類の偉大さを感じていただきたいと思います。

【会場】 地域振興プラザ

【時間】 午後1:30～3:00 【定員】 50名(先着順)

〈概要〉広大な宇宙の広がり、悠久の時の流れ、我々はどこから来たのか、最前線の天文学を紹介します。

第1回	10/19	日江井	23歳の太陽： 緑豊かな地球の誕生と変遷
第2回	11/16	家	すばるからTMTへ： 進化する望遠鏡と観測技術
第3回	12/14	家	第二の地球、宇宙の夜明け、 ダークエネルギーを探る
第4回	1/18	梶野	宇宙のはじまり： 時空と対称性の破れ
第5回	2/8	梶野	元素は宇宙をめぐる： ニュートリノと生命誕生の謎
第6回	3/8	日江井	国立天文台見学（京王線調布駅からバス15分）

5. 日本人の心を読み解く“おとぎ話”

〈講師〉今尾 佳生 玉川大学 准教授

〈概要〉浦島太郎、一寸法師、桃太郎など、人々に親しまれてきた“おとぎ話”に潜んでいる日本人の心の在処を、民俗学的手法を用いて読み解いていきます。

浦島太郎や、一寸法師、酒吞童子、物くさ太郎、そして桃太郎やさるかに合戦など、古くから人々に親しまれてきたおとぎ話・昔話を題材として、それらの中に潜んでいる主題を、物語の筋道や挿絵に描かれている内容などを手がかりとして解説して行きます。民俗学の専門領域で構造分析と象徴分析と呼ばれている手法です。可能な限り、多摩・稲城に伝わる民話も題材として取り上げてみるつもりです。私たちの祖先が絶やすことなく伝承してきたこうした物語から、日本人の心の置き所がどこにあるのかを考えていきます。

【会場】 地域振興プラザ

【時間】 午前10:00～11:30 【定員】 50名(先着順)

第1回	10/26	序章-昔話の読み解き方： 構造と象徴
第2回	11/30	貴いものと賤しいもの： 鉢かづき姫／物くさ太郎／炭焼き長者等
第3回	12/21	母の力・女の力： 御曹司島渡り／熊野の御本地／絵姿女房等
第4回	1/18	鬼をめぐる排除と逸脱： 酒吞童子／一寸法師／力太郎／桃太郎等
第5回	2/15	異界への訪問： 浦島太郎／おむすびころりん／舌切り雀／こぶ取り爺さん等
第6回	3/22	葛藤・闘争の彼方： さるかに合戦／カチカチ山／狸合戦等

6. 屏風絵というタイムマシーン ～洛中洛外図による戦国の都案内～

【講師】 しもかわ まさひろ 下川 雅弘 駒沢女子大学 専任講師

【会場】 地域振興プラザ

【時間】 午後1:30～3:00

【定員】 50名 (先着順)

【概要】 戦国の京を描いた「初期洛中洛外図屏風」というタイムマシーンに乗って、町衆たちの活みなぎる花の都へ、皆さまをご案内いたしましょう！

戦乱の世を生き延びた町衆たちの手によって、応仁の乱の荒廃から復興を遂げた京の町。この頃の京都の市街と郊外を俯瞰的に描いた「初期洛中洛外図屏風」には、都に暮らす人々の日常が、驚くほど細密に描かれています。華やかに催される祇園会の山鉾、参詣客で賑わう寺社門前の茶店、大道芸の猿回しや操り人形、五条橋に存在した中の島、うだつを上げた裕福な町家など、どの場面からも町衆たちの息づかいが聞こえてきそうです。屏風絵に描かれた世界を通して、戦国時代の京都を旅してみませんか。

第1回	10/26	「初期洛中洛外図屏風」とは ～新しい学説から描かれた景観年代を探る～
第2回	11/30	京都の四季と年中行事 ～描かれた祇園会の世界～
第3回	12/21	賑わう都市の生業 ～描かれた商人と職人～
第4回	1/25	町衆たちの生活文化 ～描かれた信仰と芸能～
第5回	2/15	都市の伝承と史実 ～描かれた五条橋の姿～
第6回	3/22	町家の都市景観 ～描かれた京町屋の源流～

お申込みからご受講までの流れ

1. 受講の申込み

◆ 受講料 1講座(月1回×6ヶ月) 4,000円

◆ 申込み期間 平成25年7月16日(火)～8月16日(金) 先着順

- ・受付開始日のお申込みは7月16日のお申込みと同じ扱いになります。
- ・定員に余裕がある場合には開講後でも、ご受講いただけますので事務局にお問合せ下さい。
- ・申込み期間内でも、定員に達した場合は募集を締め切ります。

◆ 申込み方法

官製ハガキまたはホームページにて下記項目を明記の上、お申込み下さい。(1通にて複数講座のお申込みが可能です。)

①希望講座名 ②氏名(フリガナ) ③住所 ④電話 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦受講動機 ⑧何でこの講座を知りましたか?

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内 いなぎICカレッジ事務局 行

ホームページ <http://www.inagiic.net/> 「2013後期プロフェッサー講座受講生募集」からお申込みください。

※お申込みの際にいただいた個人情報は、講座開催・運営及びいなぎICカレッジの催しのご案内のみに利用させていただきます。



2. 受講者の決定

- ・お申込みは、8月16日(金)にいったん絞め切り受講決定の手続きをします。
 - ・受講の可否につきましては、9月上旬頃に郵送にて通知します。(お申込みのあった方全員)
- ※受講決定された方には、決定通知・振込用紙・講座のカリキュラム等を送付します。

3. 受講料の振込み

- ・受講決定の通知を受け取った方は、期日までに、指定口座に振込み、または同封の振込用紙で納付してください。

◆ 受講のキャンセル

- ・受講決定の通知を受け取った方で、申込みをキャンセルする場合は、必ず事務局までご連絡ください。
- ①受講料納入後キャンセルする場合：開講日前の申し出に限り、500円の手数料を差し引きお返しします。
- ②クーリングオフ制度：初回受講から1週間以内であれば1,000円の手数料を除く残金を返金いたします。

4. 受講開始

◆ 受講当日

- ・受講する講座の日時をご確認の上、直接会場へお越しください。
 - ・講座の受付にて出席を確認いたします。1講座4回以上の出席で修了証を授与します。(1単位認定)
- ※いなぎICカレッジは、単位制の市民大学です。12単位修得しますとプロフェッサー講座「生涯学習市民修士」、30単位修得でプロフェッサー講座「生涯学習市民博士」の学位記を森陽学長(元東京薬科大学学長)より授与いたします。
- ・欠席した講座の資料は、原則として次回の講座でお渡しします。

5. 会場マップ

◆ 地域振興プラザ

- (東長沼2112-1)
- ・京王相模原線 稲城駅 から徒歩 約10分
 - ・JR南武線 稲城長沼駅 から徒歩 約15分



◆ i プラザ

- (若葉台2-5-2)
- ・京王相模原線 若葉台駅から徒歩 約2分

